

自衛ひろしま

会長挨拶



公益社団法人自衛隊家族会
広島県自衛隊家族会
会長 福谷 薫

本年2月24日、突如として始まったロシア軍によるウクライナへの侵略は、世界を震撼させる暴挙であり、戦後77年に渡る「一安寧」を当然の事と信じていた私達に、改めて国際社会の厳しい現実を突きつける事となりました。

自由と祖国の独立の為に死を賭して戦うウクライナ国民の姿は、「平和を守るには、力が必要である」という国際社会の本質を知らしめ、私達を覚醒させました。

戦後の我が国に広く流布されてきた「絶対平和主義」と「国連中心主義」が、まさに虚像そのものであった事を白日の下にさらした瞬間でもありました。

政府は、こうした安全保障環境の地殻変動に当たり、緊急国家安全保障戦略を始めとする戦略3文書の改訂を鋭意進めると共に、防衛予算のGDP2%を目標に防衛力の抜本的な強化を図る方針を明らかにしました。

こうした国内外の大きな変動の中ではあります、全国の基地に展開し「国の安全」の維持に当たる自衛隊員は、気負うことなく日頃の訓練の成果を十分に発揮し「我が国の最後の砦」として与えられた任務を黙々と全うされています。改めて大きな拍手を送りたいと思います。

自衛隊員をして勤務する息子、娘を持つ親を中心に構成される私達「広島県自衛隊家族会」(以下、家族会)は、「隊員に最も身近な存在である事に誇りを持ち、力を合わせて自衛隊を支える」との信条を掲げ、種々の活動に地道に汗を流しています。こうした家族会の活動に対して、

賛助会員を始めとする多くの皆様から温かいご支援・御協力を頂いています。引き続きご厚情を賜りますようお願い申し上げます。

発行所
公益社団法人自衛隊家族会
広島県自衛隊家族会
編集責任者 福谷 薫
事務局 山崎 修治
廿日市市宮園九丁目4-12
FAX 0829-38-3236



自衛隊家族会シンボルマーク

親、ご家族の落胆は、想像するに難くありません。「自衛ひろしま」の記事は、そうした皆様のお気持ちと信じます。本紙に登場する一助になる事と信じます。本紙に登場する多くの事、自衛隊での新しい世界に於いて、日々の教育・訓練に自らの限界を求め、同僚との切磋琢磨を通じて絆を深め、逞しい自衛隊員を目指し懸命に頑張っています。そうした姿は、息子、娘を案じるご両親、ご家族のお気持ちをききと力付けることでしょうか。また近い将来自衛隊員を目指す多くの若者に夢と希望を与え、共に国民の皆様が自衛隊への理解を深めて頂くことになると考えます。

自衛隊員は、「国の独立と平和」の為、常時、我が国の周辺海空域の警戒監視や災害派遣、更には遠く海外に於いて国際秩序維持等の任務に邁進されています。その力の根拠は、国民の皆様からの力強い支持と声援です。防衛力の抜本的強化が国策として叫ばれている中、その実現の為に多くの国民の皆様が、実際の自衛隊の姿に接し理解を深めて頂く事は極めて重要です。この機会に是非「自衛ひろしま」を一読して頂きますようお願いいたします。

最後になりましたが、日頃からご支援・御協力を頂いています。自衛隊広島協力本部を始め、自衛隊各部隊、関係機関、各自衛隊支援団体及び今回の「自衛ひろしま」の発刊に当たりました皆様、ご協力を頂きまして誠にありがとうございます。ご挨拶といたします。

私たちの信条

私たちは 隊員に最も身近な存在であることに誇りを持ち力をあわせて自衛隊を支えます

- 一、自らの国は 自ら守る防衛意識を高めます
- 一、自衛隊員の募集・就職援護及び家族支援に協力します
- 一、会員数を増大し 組織の活動力を高めます



自衛隊広島地方協力本部長
1等海佐 柿内 淳志

「自衛ひろしま」をご覧の皆様、令和4年4月1日付で自衛隊広島地方協力本部長を拝命しました柿内です。どうぞ、よろしくお願ひ申し上げます。東京・市ヶ谷の防衛装備庁プロジェクト管理部からの異動で参りました。広島県での勤務は、平成7年春入隊から一年間の幹部候補生課程学生(江田島)、平成18年春から平成20年春にかけての幹部候補生学校教官(同) 以来となります。

本部長に着任後、広島県自衛隊家族会様を始めとする各関係団体様、募集相談員の方々や県内各自治体の方とお会いする機会を頂きました。その他の各種イベントなどの機会も含め、多くの方々とお話を重ねるにつれ、関係者皆様方の手厚いご支援・ご協力をなくして、広島地方協力本部の業務は立ち行かないものと、切に痛感しております。今後とも変わらぬご支援・ご協力を賜りたく、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

さて、今回はこの紙面をお借りして、広島地本に着任して以来、私の印象に残ったことを二つ述べさせていただきます。

一つ目は、広島から入隊してくれた隊員達の表情を見て感じた「成長」についてです。私が広島地本に着任して間もない4月7日、滋賀県大津市の第109教育大隊での入隊式に参列致しました。広島から入隊した隊員達をこの入隊式で見た時には、まだ制服の着こなさず基本動作がほぼつかない感じでしたが、約3か月後の6月29日の前期教育終了式の際には、大変充実した表情とともに立派な自衛官の姿・立ち居振る舞いに

なっていました。一人一人に感想を求めたわけではありませんが、私が想像するに、教育隊での生活において、各々が、自分なりの「やりがい」や「成長」を見出したのではないのでしょうか。一般的に、組織の中の人が成功したのか、そうでなかったのか、という評価を出すには、最低でも10年・20年待つ必要があると言われることもあります。僅か3か月という短い期間でもしっかりと成長した彼ら・彼女らの生き生きとした表情に接し、人の成長に力を貸すことができる自衛隊という組織の持つ魅力改めて実感した次第です。

二つ目は、家族を大切にすることと意思疎通の重要性についてです。広島地本では、6月に入ってから、公式Twitterに「父の日」をテーマにいくつかの記事を投稿致しましたが、そのうちの一つの記事が45万を超える「いいね」を頂きました。通常であれば「いいね」が500を超えれば、当地本の投稿記事の中では多い方なのですが、実にその約100倍の「いいね」を頂いたのです。当該記事は、子供の参観日に業務が重なってしまい悩んでいる若い広報官を先輩広報官が見かねて、当該業務を交替して、若い広報官は無事に子供の参観に行けた、ということとした職場のエピソードを紹介した内容でしたが、笑いを誘うような写真の効果もあったのか、予想外の反響を頂きました。

言うまでもありませんが、防衛力の根幹は、一人一人の隊員です。私は、隊員が日頃の訓練や努力の成果として、任務にあたってその能力を最大限発揮するためには、心身が健康であることが重要であると考えるています。心の健康は様々な要素によって保たれるものと理解して

いますが、その中でも、家族や親しい友人との関係は、その最も重要なものではないでしょうか。緊急時や任務の内容によっては家族保護が難しい場面があり得る自衛官という職業であればこそ、可能な時には家族との時間を大切にしておくべきだと思えますし、また、チームワークを発揮して目標を達成する観点からも、平素から職場の同僚などの近しい人々との関係を良好に保ち、信頼関係をしっかりと構築・維持しておくべきだと考えています。私自身への反省も込めて、となりますが、家族や友人、職場の同僚に対しては、とかく「言わなくてもわかっているだろう」とか「気持ちには伝わっているだろう」という思い込みに陥りがちですが、広島地本の部員一同には、しっかりとコミュニケーションを図って貰えるように努めてまいりたいと思えます。

私は、広島地方協力本部長に着任した際、部員一同に対して、「伝える努力」を惜しまないようにとの要望を致しました。地方協力本部の部員は、一般の方々や接することを主たる任務としていますが、人の成長に力を貸すことができる自衛隊という組織の持つ魅力をしつかりと伝えて貰うとともに、自分の近い人々とのコミュニケーションを疎かにせず、日々の業務に取り組んで貰うことができるよう、本部長としても取り組んで参ります。皆様方におかれましては、是非、今まで以上に、広報官を始めとする私共広島地本職員一同とのコミュニケーションをとって頂きますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

終わりになりますが、「自衛ひろしま」をお読みの皆様、広島県自衛隊家族会の皆様を始めとして、平素から自衛隊へのご理解・ご協力を賜っております関係者の皆様に変わらぬご支援・ご協力をお願い申し上げますとともに、すべての関係者の皆様のご健康と益々のご発展を祈念しまして、ご挨拶とさせていただきます。

「希望に満ちて」入隊者所感

一般幹部候補生



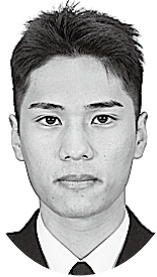
入隊に際しての所感

神田 健志

皆さんが抱えている自衛隊のイメージは、どのようなものだろうか？私が海上自衛隊幹部候補生学校に入校してから二か月が過ぎた。少しずつ生活に慣れ、自分の頭で考えて能動的に行動できるようになってきた。海上自衛隊幹部候補生学校での教育は、皆さんが想像しているとおりに厳しい。しかし、そこに理不尽は存在せず、根拠に基づいた指導が行われている。教官の指導は的確で、日々、懇切丁寧に指導していただいている。生活に関しては、時間が細かく規定されており、次に自分が何を行うべきか、優先順位はどうかといったことを考える能力「先見性」が求められる。海上自衛官は、海での生活

が基本となる。海では刻一刻と海象が変化する上に、有事などの不測の事態に即応しなければならぬ。よって、この「先見性」が海上自衛官にとって重要であり、船での生活を模した幹部候補生学校でも重点的に教えられる。最後に、同期というものはやはり素晴らしいものである。ともに困難を乗り越え、失敗し反省する。青春がもう一度訪れたようで、日々充実している。一人前の幹部自衛官を目指して、日々邁進している。

(東広島市出身)



入隊に際しての所感

銅銀 常二

春に入校してから、早くも2か月が経過した。入校当初は新しく経験することばかりで、驚きの毎日であった。未だに慣れないこともあるが、私は「当たり前を当たり前」を信念に、

この幹部候補生学校での生活に臨んでいる。これは基本動作から教務、訓練、全てにおいて求められるものだと考える。なぜなら、当たり前を当たり前に行うことにより、基礎を確立することができると考えているからだ。ここで学んだこと、習得したものが、これから私の自衛官勤務の基礎となる。この基礎を確立中の現段階で妥協することは、今後の幹部自衛官としての人生に大きな悪影響を及ぼすだろう。間違った基礎を確立してしまうと、それを部下に教えることになり、間違ったものが広まる。こうした事態を起こさないために、本校には熱心に指導をしてくださる職員がいる。基礎教育機関が厳しいといわれる理由はここにあると考える。今後、部下を持つ身になるが、部下に不信感を抱かれてしまえば、部下はついてこない。このような事態を起こさないために、高き人格の形成に励み続ける。日々自分自身を見つめなおし、自己研鑽に励む所存である。

(広島市安佐北区出身)



入隊に際しての所感

彦本 啓介

海上自衛隊幹部候補生学校に入校し、既に3か月が経過した。自衛隊という一般社会とはかけ離れた仕事に臨むにあたり、最初にすべきと感じたのは、自衛隊の空気に慣れることであつた。常に集団で寝食を共にし、時間の制約を受け等、一般社会にはない非常に厳しい規則やしつけ事項を覚えて生活しなければならぬ。これは、艦艇という限られた環境で勤務するために必要な素養であつた。海上自衛官として身につけなければならない。また、幹部海上自衛官としての基本的な知識及び技能の教育を受ける。防衛大学校を卒業したI課程と比べ、一般大学を卒業したII課程の候補生は、知識や技能に差がある。この差を埋めるために重要なのは、準備と努力をすることである。私たちの分隊長の勤務方針は「奮励努力せよ」で

あり、真面目に努力することにより学校卒業後の実務で通用する技術を磨くことができるということだ。幹部候補生学校での教育は、残り9か月となった。ここでの生活を大切にし、幹部海上自衛官となるために真摯に努力して、将来、職務を立派に全うしたい。

(広島市佐伯区出身)



入隊に際しての所感

渡邊 伊織

幹部候補生学校に着校して、初日から衝撃を受けた。ここ広島での学校生活は、艦艇での生活を模しており、一分も無駄にしない厳格なもので、今までの生活と大きくかけ離れたものであつたからだ。教務は、大学で学んだことのない内容ばかりで難しく、幹部海上自衛官としての品位を保つために求められる服装容儀はとて厳しい。入隊前は当たり前だと思っていたことも、ここでは認められないこともある。不器用な私は指導されることが多く、大変な日々ではあるが、幹部候補生学校の教育を通

じて、厳しさの中に確かな成長を感じている。私が所属する分隊のモットーは「基本」であり、初級幹部として必要な基礎的な知識や技能を習得しようとしている。また、辛いことも同期と助け合つて乗り越えている。教官の方々がよく口にする「同期を見捨てるな」という精神を念頭に、同期一丸となつて頑張っている。出身や経歴の異なる同期と一つ屋根の下で過ごすのは、とても楽しい。学校生活は約1年間だが、1日1日は本当にあつたという間だ。卒業式を終えて遠洋練習航海に向かうとき、悔いのないよう、毎日全力を尽くしていきたい。

(広島市南区出身)

一般幹部候補生

陸・海・空幹部自衛官になるコース

一般・歯科・薬剤科のコースから各自衛隊の幹部自衛官となる者(飛行要員含む)を養成する制度です。





有限会社 田島建設

代表取締役 田島 幹雄

事務所 広島県庄原市口和町永田779-7
TEL (0824) 89-2055
FAX (0824) 89-2578



宿泊、お食事、宴会...そして
婚礼・法要・お祝い事などの
各種パーティーに。

東洋観光グループ
ホテル広島サンプラザ
HOTEL HIROSHIMA SUNPLAZA

TEL 082-278-5000

〒733-0833 広島市西区商工センター3丁目1-1 FAX (082)278-1703

JR新井口駅より徒歩8分好アクセス!

URL <http://www.hiroshima-sunplaza.com>

呉市海事歴史科学館第30回企画展

海軍を描いた作家

阿川弘之・吉田満・吉村昭

～「大和」・「長門」・「陸奥」のものがたり～

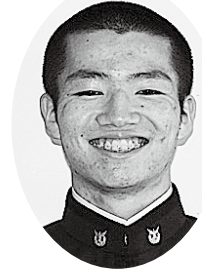
【会期】

令和5年3月31日(金)
まで



大和ミュージアム

防衛大学校 学生



入校に際しての所感

井上 惇平

防衛大学校では、生活でも全力を求められるので、大変だと思ふこともありますが、全力でいればいるほど日々の暮らしに達成感を見出すことができます。このような生活は入校前とは全く異なるもので、最初は戸惑うことも多かったですが、入校する前から、防衛大学校での生活は厳しいものだと認識はありました。しかし、入校して生活するにつれて、求められること一つ一つに幹部自衛官としての資質を育成するうえで意味があり、厳しい環境も単に厳しいのではなく、私たちの成長のために考えて作られているのだと思うようになりました。入校して良かったことは、素晴らしい出会いがあったことです。厳しい生活とともに乗り越えていく同期や、私たちの成長を願って真剣に向き合ってくださる上級生と、他にない濃密な人間

関係が得られます。さらに、留学生がすぐ近くにいることも大きな刺激になります。留学生とともに学び、生活することで、常に異文化の刺激を受けることができます。私はまだまだ未熟ですが、このような恵まれた環境の中で幹部自衛官としてふさわしい人になれるよう、一つ一つの出会いを大切にして精進していきたいと思ひます。

(福山市出身)



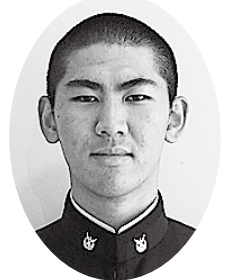
入校に際しての所感

前田 雄哉

入校して感じたことは、防大は一般大学とは全く違うという点です。防衛大学校では一般大学と同じように授業を受け単位を大学卒業資格を得ることはできません。また学業に加えて防大には、学生舎生活というものがああり、そこではこれまで体験したことのない生活を同期や上級生と常に過ごします。その分同期との繋がりや部屋内での上下級生の繋がりはとても強固なものであり、交友関係を築くという点でも得られる

ものが多くあります。入校してよかったことは自らを律する環境の中、時間の使い方や社会人としてのマナーを学び実践することで人としての成長ができることです。防大は幹部自衛官となる者の教育を司る機関であるため、一般以上の体力、知力が求められるほか自衛官としての素養や立ち振る舞い、言葉遣いなどについても学んでいます。また、1学年は割り振られた仕事をを行うために様々な作業において時間を短縮する工夫をしなければならず、入校前と比べて充実し、日々自らの成長を感じながら生活を送れているということも、入校してよかった点の1つです。私の抱負は「起床から消灯まで課業、学生舎生活、校友会等すべてのことに手を抜くことなく全力で生活する」です。時間が無い生活の中で楽な方法を見つけているのではなく、何事も全力で取り組みます。

(広島市東区出身)



入校に際しての所感

吉田 大鳳

私の周りには自衛官として活躍されている方が多く、仕事のやりがいについて聞いたり、仕事をされる姿を見ているうちに、私も国民の生活を守る幹部自衛官になりたいと思うようになり、防衛大学校に入校した。着校から2ヶ月間、厳しい時間管理の下、妥協のない徹底した指導を受け、1日1日を積み重ねてきた。着校前に防衛大学校で学ぶ兄から聞いていた以上に、1年生の生活はやるべきが多く、当初は目の前のことをこなすことで精一杯の状態であった。戸惑うこともあったが、同期と協力し、補い合うことで限られた時間をより有効に利用できるように成長してきたと思う。特に、先のことを考えて行動することは、私が最も成長した部分であると思う。目の前のことだけでなく、先を見越して行動することで自分にもゆとりができ、全体を見通すことができるようになってきた。このように私が新しい環境に少しずつ適応していくこ

とができたのも指導教官や上級生からの丁寧な指導のおかげだと感謝している。また、生活が一変したこと、今までどれほど私を家族や様々な人に支えて頂いていたのかに気づくことができた。これからの防衛大学校での生活も、これまでに頂いた指導や助言を謙虚に受け止め、かけがえのない仲間と重要な責務を担える精強な人材となるためにさらなる高みを目指していきたい。

(呉市出身)

防衛大学校学生 幹部自衛官を養成するコース

将来、各自衛隊の幹部自衛官となる者(パイロット要員含む)を4年間の修業期間において養成する制度です。

一般曹候補生



入隊に際しての所感

伊藤 優一郎

自衛隊に入隊して、もう3ヶ月が経とうとしていますが、私は周りより少し遅れて着隊しました。初めて班員と会ったとき、すでにみんな自衛隊での生活に慣れ始めていて、私は遅れていることが不安になりました。初めての環境で、今までは全く違う生活であるにも関わらず、班の中ですら一人だけ別行動というのがとても辛かったです。しかし班長がしっかりサポートして下さったり、班員が分からないところを何でも教えてくれたのであつという間に不安はなくなりました。私がこの前期教育で最も成長したと感じているところは、自分で気づく力です。ロッカー内やベッド下の整理整頓をする際、どこが汚いかや、どこができていないのかを自分で気づき、直す必要があります。入隊してすぐの頃は、自分で気づくことができず班員に指

スペース・クリーン space clean



- 製法特許取得により使用開始の瞬間から強力除菌で速攻消臭
- 感染予防対策の機能性二酸化塩素衛生用品



オフィス



リビング



寝室 & 子供部屋

消臭

除菌

防カビ

スペース・クリーンシリーズのお問い合わせは 〒721-0963 広島県福山市南手城町2丁目17-1

NextLife 株式会社ネクストライフ

Tel.084-959-3956

受付時間/午前9時～午後4時 土・日・祝・年末・年始を除く



英霊に感謝の誠を捧げましょう

初宮、安産、厄除、会社祈願等・神前結婚式
広島城跡鎮座

広島護国神社

〒730-0011 広島市中区基町 21 番 2 号
電話 082(221)5590 FAX 082-(223)8830
https://www.h-gokoku.or.jp/
Email hirogosha@h-gokoku.or.jp

摘されて気づくことがほとんどでした。しかし、自然にできていないところを自分で見つけられるようになり、今では指摘されることなくなくなりました。後期教育では、前期教育で学んだことや成長できたところを活かして、更に信頼され頼られる陸上自衛官になりました。また、毎日の体力錬成や勉学を怠ることなく日々成長していきたいです。

(広島市西区出身)



入隊に際しての所感

岡川 慈宏

毎朝六時、ラッパの音で目覚めるようになり、早三ヶ月が経とうとしています。三月二十九日に着隊をし、三ヶ月間、自衛官としての基礎を教えて頂きました。この三ヶ月間は、試練の日々でした。最初の試練は縫い物でした。少しでもずれるとやり直し。その繰り返しの日々でした。次の試練は、コミュニケーションを取るという試練でした。見ず知らずの人とコミュニケーションを取ると

したのは初めての1週間は制服や迷彩服の裁縫、アイロンや半長靴を磨いたりなどの日常生活の基礎を教えてもらいました。その時に班員と自己紹介などをし、仲間と自己紹介などができました。自衛隊生活にも慣れてきて、最初の壁にぶつかりました。それは体力検定です。私は高校を卒業してからの1年間ほとんど運動をしなかったので1回目の体力検定では、腕立て21回、腹筋20回という自衛隊員としてふさわしくない成績を残してしまいました。ですが、班長の方々の指導による錬成と自主錬成を毎日怠けることなく行つたので、修了時の体力検定では、腕立てと腹筋の回数を倍近くまで増やすことができました。前期教育では自衛官としての基礎的なことを教育してもらい、仲間との協力の大切さを学びました。戦闘訓練や格闘訓練などの後は泥まみれになった装具を整備するのですが、時間が限られていたので、役割分担をし、協力することで完璧に整備することができました。後期部隊に行つても前期教育で学んだことを活かして、成長させていけるように努力します。

この頃は簡単なことではありませんでしたが、三ヶ月経つた今では、信頼のできる仲間です。その他にも統制を取るといふ試練、覚えなれないという試練、この三ヶ月間様々な試練を乗り越えてきました。そんな今、私が思うのは、いままでの試練は任務を遂行するための練習であつたということだと思います。何が起るか分からないこのご時世、自衛官は与えられた任務は必ず成し遂げなければなりません。この三ヶ月間、小さな試練いわば任務ばかりでしたが、この小さな任務を成し遂げることができてこそ大きな任務を成し遂げることができると感じています。そして何よりこの三ヶ月乗り越えることができたのは信頼できる仲間がいてくれたからです。私の人生の中でかけがえのない三ヶ月間でした。

(尾道市出身)



入隊に際しての所感

財木 啓吾

私が一般陸曹候補生として入隊し、3ヶ月が経ちま



入隊に際しての所感

鳥屋 好誠

私が自衛隊に入隊してから早くも2ヶ月半が経ちました。入隊当初は不安ばかりでした。自分は人見知りなので自分から話しかけに行くことができませんでした。しかし班員から声をかけてくれてすぐ仲良くなり、今では毎日楽しい生活を送れています。入隊してこの2ヶ月半で沢山学ぶことがありました。その中で一番大変で1番大事だと思つたのは時間厳守です。高校生の時は時計など気にしていなかったのですが、自衛隊は1秒でも過ぎると叱られ、その後時計を見るくせがつき、入隊前より確実に時間を守るようになりました。また時間を守る上で仲間と協力しないといけない場面もあり、助け合い声かけする中で絆も生まれました。この教育中は辛いことも沢山ありました。しかし振り返るとあつという間で思い出しが残つてないです。最初の1ヶ月は正直自分の時間はないです。アイロン、半長靴磨きなど

で大変です。慣れてくると自分はいつの間にか2つの作業が好きになつていました。しかしまだまだ慣れないことばかりで勉強の日々です。でもこういう一般企業で経験できないことが自衛隊にはあります。大切な仲間と巡り会えました。この経験を是非体験してみてください。入隊待っています。

(安芸郡出身)



入隊に際しての所感

滝本 良幸

自分が一般陸曹候補生として自衛隊に入隊して2ヶ月半が経ちました。初めての集団生活で慣れないことが多くあり戸惑うこともたくさんありましたが、同じ班の同期の仲間や違う班の同期の仲間達と助け合い、協力して日々を過ごし、今はとても楽しく生活しています。自衛隊は時間を守ることがとても大切で、常日頃から時計を見たり、行動を逆算できるようにしました。時間を守ること、自分一人だけではなく班全体だつたり区隊全体など、

周りの仲間と協力する場面が多く、全員で声を掛け合い助け合う中で、絆が生まれ、団結力が高まりました。また、自衛隊は体力検定があり、入隊時にも実施しました。結果はあまり良くありませんでした。しかし、日々の訓練や体力錬成で日々成長しているのを実感し、腕立てと腹筋の回数は伸び、三千メートルのタイムは縮みました。日頃から体力錬成をし、仲間と一緒に切磋琢磨でき、良い習慣になりました。自衛隊での生活は集団生活で、集団生活に慣れていない人にとっては、少し環境が変化し苦労するかもしれませんが集団生活でしか経験できないことがたくさんあります。苦しいこともありますが楽しいこともたくさんあります。皆さんの入隊を待っています。

(広島市安佐北区出身)



入隊に際しての所感

多久和 隼

私が一般陸曹候補生として松山駐屯地に入隊して、約三ヶ月が経ちました。戦

新築 リフォーム 増改築
住まいのことなら
有限会社 **佐古工務店**
SAKO
東広島市黒瀬町丸山 19-9
http://www.sako-home.co.jp
0120-359-346

COFFEE AND LIGHT MEAL
HAKUGIN
府中市元町463-6
FB 毎日更新

おかげさまで60周年 リニューアルオープン
憩いのお時間、お食事、個室でのミーティング等お気軽にご利用ください。
人気の **ランチメニュー** AM11:30~PM2:00 (月~土)
●日替わりランチ ¥1,100
●パスタランチ ¥1,000
●ステーキランチ ¥1,700
喫茶 白銀
府中市元町463-6 / TEL& FAX (0847) 45-2889

闘訓練や射撃訓練などといった普段生活しては経験することができないような経験をしました。初めての団体生活で最初は慣れないことが多くありましたが、今では班員や同期と楽しく生活しています。私が自衛隊に入隊してよかったことは二つあります。一つ目は時間への意識が身についたことです。入隊する前は私は時間にルーズな所があり、何をやっても行動が遅かったです。しかし自衛隊の生活は規律が厳しいため規則正しい生活が送れるようになり、物事を計画的に考えて要領よく行動することができるようになりました。二つ目は、体力や能力の向上そして多くの人と信頼関係を築けたことです。体力や能力面では訓練や課外の体力錬成で大きく成長しました。そしてきつい訓練に毎日励む同期とは強い信頼関係を築けました。自衛隊は厳しく大変なことがたくさんあります。しかしそれ以上に楽しいことがあります。私は自衛隊に入隊して本当に良かったです。皆さんも是非、入隊してみてくださいか。皆さんの入隊を待っています。

(広島市安芸区出身)



入隊に際しての所感

土井 悠暉

私は、入隊してから多くのことを学ぶことができ、自分自身の足りない面も見つかり、日々成長することができました。また、私は多くの人達と関わることもできました。自衛隊に入隊して学んだことは、時間の大切さです。決められた時間を過ぎる事で、課業の時間が遅れたり、区隊全体に迷惑をかけてしまっています。また、団体として動いている以上時間を1分1秒無駄にしてはいけないなど改めて思いました。時間に余裕ができ冷静に判断することもできます。だから時間を守ることは自衛隊として大切だと実感することができました。私は、この教育を通して3ヶ月間乗り越える事はできたのは共に過ごした仲間たちのおかげです。3ヶ月間共に過ごした仲間とは、楽しい時も訓練等で辛いことがあった時も日々切磋琢磨することで乗り越えることができました。仲間の大切さを改めて実感でき、とても良い経験となりました。残り少ない

教育ですが、最後まで気を抜くことなく1分1秒を無駄にせず、悔いが残らないようにしていきたいです。また、教育を通して関わった人たちに恩返しができるよう全力で取り組みたいと思います。

(呉市出身)



入隊に際しての所感

斗納 健人

私が一般曹候補生として入隊してもうすぐ三ヶ月が経とうとしています。初めてこの松山駐屯地に来た日はとても緊張し、周りには自衛官が少し怖く見えたのを今でも覚えています。初めは縫い物から始まり、私は少し苦手だったので班員に遅れないよう必死に取り組みました。そして少し遅れてしまっても焦りませんでした。しかし第一回の体力検定で三一中隊中五位を獲得し、人には得意不得意があるので体力面を頑張ろうと思いました。私がこの三ヶ月で特に印象に残っている訓練は、小銃掩体構築です。その日は大雨で、しかも私の持ち場は木の根元に



入隊に際しての所感

野上 郁朗

私は自衛隊へ一般陸曹候補生として入隊しました。私は自衛隊へ、体力・精神・技能を身に付け人間性を高めるために入隊しました。ですが入隊して苦難の連続でした。まず初めに悩ま

れたのは同期との関わり方です。同い年の人もいれば中には五つ年上の人もいてどうしても気が引けてしまいがちになりました。次に悩まされたのは、全て一人でやっていたのかなといけなかった生活でした。今まで洗濯やアイロンなど、親にやってもらっていたことを自分でやらなければいけなく、慣れないことばかりでしんどかったです。この同期・慣れない生活の中で厳しい訓練を受けていくと考えると、まったく自衛隊としてやっていける自信がありませんでした。そんな苦しんでいた自分の心の支えになったのは班長さん達でした。厳しい時は怖いくらい叱ってくれましたが、心の和む話もして下さいます。今では本当に感謝しています。結果、三ヶ月経った今厳しい訓練や慣れない営内生活も同期と共に乗り越える事ができ、とても仲間が良くなりました。これから後期教育へ行き新たな同期や先輩方と共にやって行き自分の入隊した目的の人間性を高めていこうと思います。

(三原市出身)

入隊に際しての所感

福永 巡琉



自衛隊に入隊していつの間にか三ヶ月が経ち、前期教育がもう終わろうとしています。入隊した当初は、毎朝六時に起床ラッパが鳴り、憂鬱な一日が始まっていました。毎日難しい座学や厳しい訓練があり、その上、コロナの影響によりまとまらな外出ができず辞めたいと思った時もありました。ですが班員と過ごす課業外の時間はとても楽しく毎回助けられました。一ヶ月が経ちゴールデンウィークが明けてからは、自衛隊の生活にも慣れてきました。徐々に本格的な訓練が始まりましたがとても楽しく仲間との団結が深まっていくのを感じました。訓練が進むにつれて練度判定が始まり自分達が学んで錬成してきたことを評価してもらう機会がありました。練度判定は自分の成績に直結するものなのでとても緊張しましたが、合格基準に到達することができました。自衛隊は、国防が主たる任務ですが自分自身として社会人としてこよ

厳選のスポーツカー
お探しします!

最新車も取り扱っています!
各種メーカーのスポーツカーを取り扱っています!



広島県東広島市黒瀬町檜原918-3
株式会社オートスポーツナイトウ
0823-82-0077 定休日：火曜・水曜

黒瀬IC下車
右折2分

新型コロナ対策を徹底し
外来・オンライン診療がんばってます
皆様の御支援に感謝です!!

平田内科医院

廿日市市阿品台4丁目1-26
電話 0829-39-1155

り成長できる場所は無いと思いましたが、自衛隊は他の職ではできない貴重な体験が多くできるので是非入隊して体感して欲しいです。

(広島市佐伯区出身)



入隊に際しての所感

田原 佳和

私は今年三十歳となります。入隊したばかりの頃は高校や大学を卒業したばかりの同期と運動や訓練を一緒にこなし、その中で上手く馴染めるか不安でした。実際に生活してみると若干気を使われているなと思う場面はあったものの心配していた程浮くこともなく分隊の仲間として寝食を共に過ごす事が出来ています。普段の教育隊の教務では思っていたよりも運動をすることが多く、ひたすら体力勝負といった感じですが。特に最初の頃は、今まで体をあまり動かしてこなかったこともあり、常に筋肉痛になっていました。周りとは比べて筋肉の付くペースが遅かったりと年齢差を感じる場面もありました。そんな中で自分に対し

歯がゆい思いをしましたが、今ではできないことも少なくなり、日々の訓練を乗り越え、諦めず努力を続ける事でゆつくりとですが成長を実感できています。最後に今後の自衛官としての目標ですが、教育隊で学んだ知識や培った体力を維持向上させ、災害や有事の際に全力を発揮し貢献することです。そのためにも部隊に配属された後も、日々の学習やトレーニングを怠ることなく、メリハリのある生活を心掛け、これからの業務に取り組んでいきます。

(竹原市出身)



入隊に際しての所感

大廻 南々海

私が自衛隊に入隊しようと思った理由は二つある。一つ目は、人の役に立つ事に就きたいと思ったからだ。ありきたりかもしれないがこの理由は大きな動機である。見方を変えれば、人の役に立つ仕事はたくさんあるが、私が自衛隊を選んだのは生まれ育った国を守る事ができるからであ

る。今当たり前に生活できているのは、日本が平和だからだ。この平和を自衛隊が守っていることを知り、ここで働きたいと思った。二つ目は、世界という広いフィールドで働けるからだ。他国との交流があることも自衛隊でしか経験ができない職業だと思った。日本にだけでは知ることのできない他国の現状や文化に触れ、自分の世界を広げたいと思い、自衛隊へ入隊することを決めた。この二つの理由はいわば、初心である。まだ入隊して二ヶ月ほどしか経っていないが、初心に返って考えさせられることは多くある。部隊に行つてからも、この初心を忘れることなく、日々謙虚に努力していこうと思う。まだまだ先は長いですが、教育隊で出会った同期や班長及び、部隊に出でからもたくさんの上官との関わりの中で自分の成長に繋げ、限界を決めず、目標に向かって努力し続ける自衛官になりたい。

(廿日市市出身)



入隊に際しての所感

木天 七星

私が海上自衛隊に入隊してから約二ヶ月経過しました。入隊した際の頃は、周りの人と上手くやっていくか、また、今まで運動部に入っていないがため体力的にもついていけないのか心配でした。しかし、教育隊で日々過ごしていくうちに仲間もできて過酷な訓練にもついて行くことができている。分隊の班長は厳しいですが、その厳しさの中には優しさがあり常に私たちに真剣に向き合ってくださいます。そのおかげで社会人として、海上自衛官として成長していることを実感できています。また、平日の訓練がきついため、休日はゆっくりしています。同期とともに教育隊付近のショッピングモールに買い物に行ったり、体力を向上するために隊内を走ったり水泳したりととても充実した休日をおすごしています。私は海上自衛隊に入隊してとても良かったと思っています。私は今まで精神的に弱かったけど入隊して同じ目標を持った同期がいるこ

とで「負けたくない」という気持ちで日に日に大きくなり、自然と諦めるという選択肢が無くなりました。これからの初心を忘れず、同期と切磋琢磨し、少しでも早く一人前の海上自衛官になることができるように日々精進して訓練に励みます。

(呉市出身)



入隊に際しての所感

神出 萌音

私は自衛隊に入隊する事が決まってから楽しみな気持ちしかありませんでした。しかし、いざ入隊するとなった時、今まで感じなかった不安や心配事がたくさん出てきました。私が一番不安だった事は、団体生活です。初めて会った人と急に二十四時間一緒に生活をするなんて自衛隊に入隊してはなかったら想像すらしませんでした。今までは自分の事だけ考えていればよかったものが、周りの人の事も考えないといけなくなり、一週間は、自分に余裕もなく新しい環境で何度も涙を

流す日々が続きました。そんな時、支えてくれたのが同じ部屋の人でした。みんなも初めての場所で初めての人と共同生活をする事に不安があり、共に涙を流すこともありましたが。そんな仲間達と日々協力して過ごしていくにつれて大きな絆が生まれていきました。苦しいことも辛いことも乗り越えることができたのは仲間がいたからでした。教育隊では仲間の大切さや思いやりなどたくさんを学ぶことができました。ここに来た時よりも成長した姿で修業したいです。部隊に配属される時も初心を忘れず頑張っていきたいです。

(広島市安佐北区出身)



入隊に際しての所感

有馬 吉乃

私は元から公務員を志望していた事と社会的貢献度の高い仕事に就きたいと考えていた事に加え、災害派遣等で社会の役に立っているという実感が得られるであろうと考えた事、以上の

私達も自衛隊を応援しています

有限会社 清水モーターズ

代表取締役 清水利一

自衛隊家族会江田島支部

〒737-2124

広島県江田島市江田島町宮ノ原3丁目5番22号

TEL0823-42-1576 FAX0823-42-1578

祝

第21代内閣総理大臣就任

100周年記念

ワシントン会議開催

加藤友三郎銅像保存会

会長 大之木 小兵衛

〒737-8503 呉市中央3-8-21(株)大之木ダイモ内

Mail tomosaburo.kato@gmail.com

Tel 0823-21-1411

おかげさまで創立75周年(創業98年) 備北交通で働く。 女性ドライバー 歓迎 備北交通株式会社 TEL 0824-72-2123

理由から自衛隊の入隊を決意しました。入隊前から自分の殻を破りたい、以前の自分よりも成長がしたいと思いい「自捨新生」をスローガンに掲げ、班の為に積極的に動いたり、物事を諦めずに最後までやり遂げる事を行動目標にして入隊しました。私は元々体力に自信が無く訓練についていけるか不安でしたが、班長に錬成方法を伺ったり班員同士で支え合って訓練を重ねることで、次第に体力がついてきてほかの隊員に後れをとることが減っていきまし

た。入隊直後数回しかできなかった腕立て伏せや腹筋が30回、40回できるようになり、3キロ走のタイムも初めの頃よりも5分以上縮まり成長の手足えを感じています。生活面に関しても、課業後や休日に次の課業へ向けての準備とプレスや靴磨き、トレーニング等を全て行えるように計画を立てて、短い時間で実施することを念頭に置き日々生活を送っています。課程も佳境に入ってきましたが、自衛官として成長するため精進していきたいです。

（広島市西区出身）



入隊に際しての所感

中村 優斗

私が航空自衛隊を志望した理由は、2つあります。1つ目は、西日本豪雨がきっかけです。この災害で私の住んでいる地元も被災しました。この時、自衛隊の方々が救助活動を行っているのを見て影響を受けました。2つ目は、パイロットを安全に離着陸できるように支援をする職種に就きたいと思いい、入隊を希望しました。入隊前、体力面や生活面など上手くやっていたか心配でした。入隊当初は、課業で体が疲れている中、プレスや靴磨きで時間に追われていました。しかし、日が経つにつれて生活に慣れていき、今ではプレスや靴磨きの他に自主トレを行う時間ができ、入隊当初に比べて時間の有効活用ができるようになりました。訓練では慣れない動作が多く苦勞ばかりでしたが、教官が丁寧な指導してくれるので苦手な部分も克服でき、日々成長を感じています。また、休日には翌週に向けてプレスや靴磨きを行います。自



入隊に際しての所感

溝口 蒼紫

私が自衛隊に入隊した理由は二つあります。一つは私が元々人助けのできる仕事に就きたいと考えていたからです。自衛隊では日本全国の広い範囲で活動することが可能であり、その一員として多くの人の役に立つことができると考え入隊への道を決意しました。もう一つの理由は、多種多様な職種を通じて経験を積み、自分自身の成長に繋がると考えたからです。入隊前に周囲の知人から聞いた自衛隊のイメージでは、自分には厳しいかもしれないと感じていました。しかし、日を重ねるごとに自衛隊生

活にも慣れていきました。日々の訓練では、自分の体力不足もあり、しんどい場面もありました。しかし、教官や班員の支えもあって今まで乗り切れたと考えています。休日などは、時間を有効活用して、靴磨きやアイロンがけを行ったり、班員と外出するなどしてリフレッシュしたりして過ごしています。教育期間の終了が近づいており、約四ヶ月があつという間だったように感じました。今後の目標は、自衛官としての任務を全うしつつ、一人の人間として人助けをしなごら日々の生活を送り、一度きりの人生に悔いを残さないことです。

（安芸郡出身）

一般曹候補生
陸・海・空のプロになるコース

自衛官として、26歳まで航空自衛隊、海上自衛隊、陸上自衛隊のいずれかに入隊し、専門的な訓練を受ける。入隊後は、厳しい訓練を受けるが、多くの仲間と協力して任務を遂行する。また、海外での活動も可能である。

自衛官候補生



入隊に際しての所感

荒牧 日向

私は、二十三歳で自衛官候補生として四月に入隊しました。着隊日に感じたことは、十代の同期ばかりで体力的な不安と柵に囲まれた環境で生活していくという不安です。しかし、その不安を吹き飛ばすくらいの生活が待っていました。それは、とにかく時間に追われる日々でプライベートな環境がなく、どこに行くのにも団体行動ということになります。課業が終わっても、待っているのはアイロンがけと靴磨き、自衛官として必要な体力をつけるための体力錬成です。この過酷な環境に慣れるまで二週間以上かかりました。しかし、この環境を自分だけでなく、同期の同期と声をかけ合い、日々の同期と声をかけ合い、一番の思い出は二十五キロ行進訓練です。同じ班の同期が訓練前日に捻挫をしたにもかかわらず、歩くことを



入隊に際しての所感

池本 優大

私は、令和4年4月3日に陸上自衛隊海田市駐屯地第46普通科連隊教育隊へ入隊しました。入隊する前は、自分の憧れの自衛隊へ入隊できるという気持ちと上手にやっていたのかという気持ちがありました。入隊して数日間は、食事や入浴、コンビニへの買い物は必ず2人以上で行動しなければならぬ事、作業服のアイロン、半長靴磨きなど、慣れないことばかりで携帯電話を使う余裕もなく、最新

決意し、一緒に完歩できる様に班員全員で荷物を分配したり、完歩できるような全員で支え合ったことにより、無事完歩することができました。その時はとても嬉しかったです。これからもたくさん辛いことはあると思うけど、実際に有事の時に自衛官として国民の負託に応え、身をもって責務の完遂に務められるよう日々錬成していくことに努めていきたいと思いいます。

（尾道市出身）

ビジネスホン 複合機 サーバー・PC 監視カメラ ナースコール
放送設備 LAN配線工事 システム設計・販売・施工・保守

OA機器、ひかり電話のご用命は…

小川電気通信株式会社

〒733-0022 広島市西区天満町9番17号
TEL082-291-0001 FAX082-232-1313

大型サロンバス マイクロバス タクシー

「お帰りなさい」をお届けするまで安全・快適な旅をお約束します。

タクシー配車受付 **0829-32-8989**

観光課（課観光バス） **0829-32-3304**

ハツコウ 株式会社 **0829-32-3304**

〒738-0033 広島県廿日市市串戸3-24-1

有限会社 協立工務店

建築・土木・型枠材工一式

代表取締役 榎原 数彦
取締役 藤田 春幸

〒728-0502 広島県庄原市口和町向泉 444-10
TEL0824-87-2371 FAX0824-87-2371

の情報が入りに入りませんでした。入隊して初めての外出をした時は、今までは普通だった生活がすごく貴重なものであると自覚しました。他にも同期と上手にやっていたのかどうか、訓練についていけるのか、続けていけるのかなど、様々な不安が1〜2週間ほど続きましたが、時間が経つにつれ段々と慣れていくことができました。班長、班付には時に厳しく、時に優しくご指導していただいています。厳しいことも多いですが、その様な時は課外での入浴や営内で買ってきたお菓子や飲み物をつまみながら楽しく同期たちと会話しています。もう少して前期教育が終わってしまいましたが、次の後期教育に備え、残りの教育を全力で取り組み一人前の自衛官になれる様に頑張ります。

(広島市西区出身)



入隊に際しての所感

内林 亮人

陸上自衛隊に入隊して最初に感じたことは、自由な

時間があまりに無いことに対する焦りでした。起床から就寝まで時間と規律に縛られた初めての集団生活に当時の私は頭を抱えました。例えば、常に行動は二人以上でなければなりません。部屋の整理は規律に則り、且つ統制しなければなりません。課外も時間を気にしなければなりません。朝は六時にベッドから飛び出し、眠たい目を擦りながら戦闘服に着替え点呼に向かいます。夜は明日の準備に追われ、二十三時に消灯します。入隊から二ヶ月経った今この生活に慣れ楽しく過ごせているのは、同じ苦労を共有できる同期達の存在がとて大きいです。年齢も性格も様々で訓練中はお互い気遣い合える良い仲間を持ちました。訓練に関しては、銃の扱い方や自衛隊の基礎となる技能を学んでいます。一般社会ではとても触れることのない道具に最初は戸惑い、しかし情熱的な指導のもと試行錯誤しながら少しずつ確実に一人前の自衛官への階段を上っています。これから後期教育で更に専門的な知識技能を学ぶ段階に入るので、早く立派な自衛官になれるよう精進していきます。

(福山市出身)



入隊に際しての所感

小川 剛宙

私は、令和4年3月28日、陸上自衛隊海田市駐屯地第46普通科連隊教育隊に入隊しました。まず最初に感じたのは、自分の自由な時間がないと感じました。覚えることも多く、毎日アイロンスしたり、ベッドメイクをしたり、半長靴を磨いたり、何をすることも団体行動で、プライベートな時間や個人の余暇を楽しむことができません、すごくストレスが溜まっていました。他にもコロナウイルスの影響で3週間外出禁止になった時があり、この時は本当に何をしたらいいかわからず、不安は少しづつ無くなっていきまし

じています。これから前期の教育を終えた後、後期の教育のためにしっかりと準備をして他の隊員に後れを取らないように頑張りたいと思います。

(広島市安芸区出身)

私は令和4年4月3日、陸上自衛隊海田市駐屯地第46普通科連隊教育隊に入隊しました。入隊する前は不安なことばかりでした。しかし、入隊し何日か経過していくにつれ、不安は少しずつ無くなっていきまし

入隊に際しての所感

尾糠 怜



感じました。自衛隊で何より大事な事は、人間関係だと実感しました。なぜなら自衛隊内では常に団体行動であり、良好な人間関係を築くことが重要であり、その中でどのような声かけをしたり、どのような声かけを深めていくかが大事だと思います。最後に私はこれから立派な自衛官になるため日々の生活や時間を大切にしていきたい、より自分に厳しくし、日々頑張っていきたいと思います。

(広島市安佐南区出身)

私が陸上自衛隊に入隊してから早くも二ヶ月半が経ちました。着隊して感じた事は、あまり自由な時間が無いということです。何をすることも団体行動で、食事、入浴、買い物に行く時も一緒に団体行動をしており、プライベートや個人の余暇を楽しむ事ができず、スマホを見る暇がありませんでした。この日が毎日続くこと、心の中でホームシックになりそうでした。心の中で入

入隊に際しての所感

松田 晃誠



隊したのは間違えだったなと思うことが多くなっていました。しかし日々班員の人たちと一緒に訓練、生活していくうちに仲良くなり、訓練中に苦しく、辛くなっている時も、班員と励まし合い、苦しい訓練を一緒に乗り越え、うちに、ホームシックは消え、この班員たちと一緒に訓練、生活をしていきたいと思いましたが、あと少ししかこの班員たちと一緒に訓練することは無いと思いますが、前期で一緒に過ごしてきた班員たちとの思い出を大切にしていきたいと思えました。

(広島市東区出身)

自分が入隊して最初に感じた事は、想像以上に厳しいということです。想像とかけ離れていて、初めての集団生活にとっても困惑していました。朝の六時に起床らっぱが鳴り目が覚め、急いで戦闘服に着替えて点呼、その後食堂で朝食を食べます。今までは好きな時

入隊に際しての所感

松平 佑斗



尾道・松江線口和ICから車で約4分

君田温泉 森の泉

• 各種ご宴会、ご宿泊承ります。
地産地消の美味しい料理と、評判の美人の湯をお楽しみください。

〒728-0405
広島県三次市君田町 311-3
電話番号 0824-53-7021

地元とともに60年 これからも皆様とともに...
それが水口組の願いです

建設業許可番号 広島県知事許可(特-23)第567号
一級建築士事務所 広島県知事登録 09(1)第4008号
ISO9001 平成14年3月8日登録

河川改修工事(広島県) 高齢者居宅介護施設工事(民間)

広島市安佐北区深川七丁目40-16
TEL:(082)842-0025
FAX:(082)842-8810
株式会社 水口組

間に来て好きな物を食べていた生活が一変し、ギャップを感じる毎日でしたが、同じ部屋の同期達と支え助け合い集団行動を続ける中で同期の大切さ、集団行動の楽しさを覚えるようになりまし。不安もまだまだ多くあり、自分の希望する任地、職種に行けるのだろうか、これからの自衛隊生活で起こる厳しい任務に打ち勝てるのかと色々あり、同期との絆、時間を大切に、挑戦していこうと思っいます。七月には自衛官候補生から自衛官となり、責任と自覚を持って勤務したいと思っいます。班長、班付から多くの事を学び、自ら出来る事は積極的に実施し、自分らしくがむしゃらに頑張っ立派な自衛官になりたいと思っいます。

入隊に際しての所感

京塚 真奈美



(福山市出身)

私が陸上自衛隊に入隊し2ヶ月が経とうとしています。この2ヶ月間で強く感じているのは仲間の大切さ

(広島市中区出身)

です。私は22年間実家から学校に通っていたため、集団生活の経験が無かったのでうまくやっていたのかとても不安でした。普通の会社同期は、仕事が始まってから終わるまでの時間ですが、自衛官同期は課業中、課業外も24時間生活共にいます。同じ環境で育っていない分様々な問題もいますが、お互いに意見を伝え合い、どのようにすると班や区隊が良くなるのか考えて行動できるよ

うになりました。自分が思っいます「当たり前」は人にとっては必ずしも「当たり前」ではないことを強く感じました。この2ヶ月間でのように相手に伝えれば自分の想いが明確に伝わるのかを今まで以上に考えるようになりました。これは自衛官だけでなく人としてとても大切な能力だと思っいます。日々の訓練は厳しく、辛い事も沢山ありますが、仲間と一緒に頑張っいます。このように成長できているのは、教官の方や、自衛隊を紹介して下さった広報の方、支えてくれる家族のおかげなので、日々感謝の気持ちを忘れず頑張っいます。

入隊に際しての所感

中谷 早智



自衛隊に入隊して一ヶ月半が経ちました。今は、気の合う友達や、腹を割って話せる仲間もでき、充実した日々を送っています。しかし、入隊した直後は不安な気持ちでいっぱいでした。私は一日遅れて着隊をしました。まだ一日しか経っいないから、差はあまりないと思っいます。しかし、着隊した瞬間から、他の隊員達は、敬礼の練習などの基本教練をも

うしていたのでとても驚き、そして、一気に不安な気持ちに押し寄せています。さらに、班員とも上手くコミュニケーションをとることができず、ナイーブな気持ちになっています。しかし、自分から殻に籠るのはいけないと思っいます。積極的に色々な人と話をするように心掛けました。そのかいもあり、今では沢山の仲間ができ、毎日

がとても楽しいです。しかし、前期教育も残り一ヶ月半。これからさらに厳しい訓練が始まり、心身ともに疲弊することが増えると思

います。まだまだ自分自身、改善すべき点も多くあるの

で、残りの時間を大切に生活していきたいです。また、大切な仲間たちと

結、協力をして、様々なことにチャレンジしていきたく

いと思っいます。今が楽しく

充実しているのはみんなが

いてくれるからです。

入隊に際しての所感

三谷 知世



私は入隊してからとても濃い三ヶ月を過ごします。入隊する前は人間関係や訓練内容に関してとても不安に思っいます。広報の方にも話は色々聞いています。しかし、やはり多少の不安は残っいます。しかし、実際はそうでもなく、教官から分からない事や出来ない事はしっかり教えてもらって、一緒に努力できるよ

うになった事もたくさんあります。そして、入隊して自分の時間について考えさせられました。どうすれば少しでも無駄な時間がなく行動できるか考えるようになりまし。コロナの関係で自身の行動もよく考えないと多くの人に迷惑をかける訓練に影響がでしま

うに実感しました。入隊して団体生活になってから自分の行動一つで周りに影響がでしま

うに思っいます。後期に行っても自分に負けずに頑張りたいと思っいます。

(廿日市市出身)

入隊に際しての所感

三宅 里歩



私が陸上自衛隊に入隊しようと思っ理由は、災害派遣の際、最前線で救助をしたいと思っからです。入隊してすぐの頃は、今までの生活とは全く違

うに思っいます。後期に行っても自分に負けずに頑張りたいと思っいます。

(福山市出身)

入隊に際しての所感

大和 美空



入隊して思っことは、班長等の親身な教育・指導を受けて自分自身が成長できたと思っいます。体方面

(福山市出身)

企業や個人事業者様の税務・会計・その他経営に関わる全てを総合的にサポートいたします。個人の所得税、相続税、家族信託などの身近な税の相談も親身に対応いたします。

吉田憲一税理士事務所

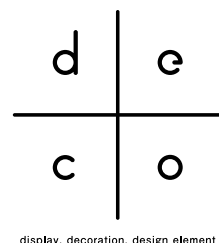


事業継承・M&A、顧問税理士・決算、確定申告、会社設立、資金調達、経営コンサル、経理業務、税務調査、人事労務等お気軽にご相談下さい

〒732-0822 広島市南区松原町3番2-2503号 グラントラストタワー広島 TEL : 082 - 568 - 6008 FAX : 082 - 568 - 6033



ホームページ



だるま・紅白幕、必勝はちまき、のぼり旗

甲三堂造花株式会社

〒730-0845 広島市中区舟入川口町14-1 TEL : 082-298-2000 FAX : 082-298-2002 http://decoplus.jp/

や人間関係で大きく成長することができ、色々な考えを持った人と触れ合い仲良くなれました。時間を守る意識が身に付き、行動が積極的になり、自分の身の回りの事を自分でできるようになりました。成長したと思いましたが、毎日ワクワクして仕事ができ、やりがいを感じ、充実して楽しいです。同じ志を持つ仲間と共に、目標を達成した喜びを分かち合う事ができました。これからは、自衛官に必要な基本教育を学び、日々勉強し、いろんなことに挑戦できる機会が増えたらいいなと思いました。また、教育隊の班長もやってみたいです。教育期間中も辛いことは沢山あるけど、仲間と助け合って一生懸命頑張りたいです。

(呉市出身)



入隊に際しての所感

落海 健斗

自衛官候補生として入隊して3ヶ月、あつという間に感じられました。着隊した日、これから仲間となる人達と受付の列に並んでい

る時、集団生活に馴染めるか不安でした。また5分前行動や靴の入れ方など今までの生活と全く違うことばかりで、慣れるまで苦労しました。5月に入ると教務も本格化し、毎日時間に追われ、教官方の指導もますます厳しくなり、辛くて辞めたいと思うこともありましたが、今では毎日教務の時本気で臨み、休む時はしっかり休んで充実しています。それは、同期の仲間や教官方の支えがあったからです。着隊時は馴染めるか不安でしたが、毎日睡眠や食事など全て一緒になるので、自然と馴染めました。同期とは、同じ立場だからこそわかる悩みや苦労を分かち合うことができ、教官方は毎日私達と向き合っているの、細かな変化に気付いて声をかけて下さるのでとても相談しやすく、生活しやすいので毎日とても楽しいです。6月になり、基礎から応用へと内容が変化し、2等海士任命が見えるようになり、終わりに少しずつ向かっています。ただ、部隊勤務という新しい始まりもあります。なのでここでの経験を大切にして、残りの日々も頑張っていきます。

(呉市出身)



入隊に際しての所感

柏谷 太心

自衛隊に入隊して2ヶ月が経ちました。入隊する前は、初めての集団生活や同期の人達と仲良くできるか不安でした。しかし、毎日厳しい訓練を乗り越える事で、同期との絆も少しずつ深まっていますように感じます。最近では、短艇訓練や警備訓練が始まりました。短艇はみんな息を揃えて船を漕ぐため、より一層仲間との絆を感じる事ができます。警備訓練では、基本的な警備動作を行います。初めての動作が多く覚えるのが大変ですが、今後のためにも頑張りたいと思います。休日には、同期と一緒にショッピングモールに買い物に行ったり、お昼ご飯を食べに外出します。外出しない日は体力錬成など、有意義な時間を過ごしています。分隊長を始めとする教官の方々には、時に厳しく時に優しく自衛官としての基礎を指導していただいております。日々自衛官として成長していることが実感できます。私は自衛隊に入隊して良かったと思

います。素晴らしい同期や教官の方々に出会え、普段の生活では味わうことの無い経験がたくさんあります。進路に困っている方や、人生経験を豊富にしたい方などにお勧めします。

私は小さな頃から人助けをしたいという思いが人一倍強く、将来の夢は消防士になることでした。しかし採用試験に落ちてしまい、夢は叶いませんでしたが、西日本豪雨災害で活躍している自衛隊を見たのと高校に来られていた広報官の説明もあり、人助けと同じく人の役に立つ仕事がしたいと考えていた私にとって自衛隊という職業にすごく魅力を感じていました。実際に令和4年4月私は第17期自衛官候補生として、地元である広島県の呉教育隊に入隊しました。自衛隊に入隊する前までは、正直続けないかわかりませんでした。同期の仲間達と助け合いながら訓練に励んでい

入隊に際しての所感

金山 仁



ます。自衛隊という組織は基本的に団体生活であり、食事や風呂の時間も決められていて戸惑う事もありましたが、12年間頑張った野球で培ったチームワークもあり、主将であったことも活かしつつ、規律をしっかりと守って、楽しく過ごしています。まだ入隊して3ヶ月足らずですが、心身共に鍛えることができ、そして成長も出来る自衛隊に入隊して良かったと思っています。この先、心が挫けてしまう事があるかもしれませんが、その時は同期に励ましてもらい、一緒に教務になり、立派な海上自衛官守っていきます。

生の仕事として続けられるか不安だったため、進路を決められずにいました。そんなある日、「今、何気なく過ごすこの日常を守っている人は誰だろう。自分もそう思った仕事があった。」と思い、その時に海上自衛隊が思い浮かびました。なぜなら、日本は原油をはじめ多くの物資を輸入に頼っており、海上自衛隊は貨物船等が安全に航行できるようにシーレーンを防衛する活動をし、私達の暮らしに繋がっていると考えたためです。また、日本周辺海域の警戒監視を行うことで人々が不幸になるのを未然に防いでいることに憧れを持ちました。そして、私は海上自衛隊への入隊を決心しました。入隊当初は、体方面や集団生活に不安を感じていましたが、三ヶ月経った今は慣れもあり、充実した日々を送っています。しかし、現状に満足せず常に向上心を持ちこの教育隊で自衛官として一人の人間として成長したいと思います。

入隊に際しての所感

蒲春 卓矢



「人々が何気ない日常を過ごせるよう、この国の平和を守る活動を自分の仕事としたい。」大学3回生の頃です。周りの学生が就職活動を始める中、私は一般の企業に就職したとして、仕事に誇りが持てるか、一

(呉市出身)

相続診断士

広島都市圏・関東圏で20年以上の不動産営業の実績があります。近年、増えている相続に関して「不動産」の活用がとて大きなポイントです。不動産の資産化や現金化はもちろん「信託」を利用することで新しい相続の可能性を相続前の準備や相続が発生した時など、個別のケースに合わせてご提案いたします。

竹田不動産コンサルティング事務所

〒733-0872 広島市西区古江東町25番19号 スターアーク古江東901号
Tel 080-1229-1433 e-mail 75m.take@gmail.com



手軽な本格派 生きるこの味、この香り [サクセスフリーズドライ](#) [検索](#)

フリーズドライをお供え盛籠に

私たちサクセスプランニングでは、送られた方が喜ばれるフリーズドライ食品を使用した「喜ばれる盛籠」を販売しております。

株式会社 サクセスプランニング 〒721-0963 広島県福山市南手城町2丁目17-1
TEL.084-971-7340 FAX.084-927-4440
s-info@su-pl.jp



入隊に際しての所感

立木 海人

私が自衛隊に入隊して二ヶ月が経ちました。最初アイロンや靴磨きなど慣れない部分も多く戸惑うこともありましたが、同期の間と情報を共有し合うことで乗り越えることができました。...

た。最後に迷ったら自衛隊お勧めします。

(福山市出身)



入隊に際しての所感

金吉 真奈

私が海上自衛隊に入隊するきっかけとなったことは二つあります。一つ目は、私の父が消防士であり、父のように人を助ける職業に就くことが夢だったからです。...

厳しく指導されることもありますが、それは私達学生を第一に考えてくれており、その分、褒められた時の達成感は今まで経験したことのないくらい嬉しいです。...

(呉市出身)



入隊に際しての所感

河村 絢奈

私は海上自衛隊の自衛官候補生として佐世保教育隊に入隊しました。入隊した頃は何も分からず、同部屋の同期とも会話が弾まず、この先がなんぼついていけるか心配でした。...

ました。しかし、同期と支え合い、強くなりました。2つ目は規則正しい生活ができることです。...

(福山市出身)



入隊に際しての所感

安保 祥太

三月三十日、私は自衛官候補生として、この航空自衛隊防府南基地に着隊しました。...

した。当初は、自分が自衛官という誇りある職業に就くことができたと嬉しさを感じつつも、これから始まる団体生活へ上手く適応できるのか、辛い訓練に耐え抜くことができるだろうかという期待と不安が入り混じった複雑な感情を抱いていました。...

(安芸高田市出身)



入隊に際しての所感

石水 嵐

私は元々、公務員志望で消防士になりたかったのですが、不合格という結果で終わってしまいました。でも、人の役に立つ仕事がいきたいという気持ちは変わらなず、また広報官との縁もあり、航空自衛隊の道を選びました。...

暮らしをカタチに 街づくりから未来を築く 小林建設株式会社 since 1961 新築・リフォームは小林建設にお任せください。土地の有効活用をお考えの方は是非ご相談ください。 広島県庄原市東本町四丁目1番1号 TEL: 0824-72-2185

生活快館 サングリーン 三次市十日市東四丁目1番30号 ☎(0824) 62-1111(代)

MORICAWA KURE MORISAWA HOTEL 海軍文化を脈々と受け継ぎ 格調と洗練さを重んじる... 呉一番の老舗 Good Time オーナーシェフ自慢の料理と オーダーメイドなおもてなしで 身も心もレトロ調に包んでくれる そんな素敵なひとときを演出します 政府登録ホテル第1230号 自衛隊不泊ル 呉市本町15-22 TEL: 0823(2)1-5188

ベーションを上げることができません。入隊して約二カ月半が経ち、まだ体力や知識など未熟な面が多いですが、最後の完成期に向けて日々の訓練に励み立派な自衛官になれるように努力していきたいと思っています。

(福山市出身)



入隊に際しての所感

織田 慶次郎

私が自衛隊に入隊を決めた理由は、学生の頃就職活動に悩んでいた時に理事長に自衛隊に入らないかと言われ、入隊試験を受けて合格したからです。入隊するまではどういう事をするのかという好奇心と、人間関係を上手く作っていきけるのかという不安でいっぱいでしたが、入隊してからは不安がすぐに消えました。同期の人たちと生活、訓練、教育を送っていくこの期間で私の課題であるコミュニケーション能力を鍛えることができたと思います。あと一月もしない内に部隊配属があり、自衛官候補生としての期間も残り少なくなってきました。最初は浮

ついた理由で入隊してきましたが同期の大切さなどを肌で感じ、学んだ三ヶ月でこの貴重な経験をしたいことを忘れず、これからの人生はどうなるか分からないですが、過ごしていこうと思っています。

(呉市出身)



入隊に際しての所感

佐藤 光

航空自衛隊の自衛官候補生課程も残り一ヶ月で終わりを迎えます。入隊してから今日まで、毎日が新しいことの連続でした。私は将来、人の役に立つ仕事に就きたいと考えていました。高校卒業後、専門学校に入學して、進路を考えていた際に自衛隊の広報官の方から話を聞きとてもやりがいがあると感じ、入隊を決意しました。入隊初日は同期と上手くいくか、訓練についていけるか不安でいっぱいでした。しかし、その不安も最初だけで一ヶ月過ぎたあたりからはすっかり同期とも打ち解けることができました。訓練は毎日が新しいことの連続で新鮮な気

持ちで取り組んでいます。訓練では射撃など銃を使用したものもあるため、班長から厳しく指導されることもあり。しかし、厳しいことでも同期や班長の支えがあるからこそ、乗り越えられています。自衛官候補生課程もあと一ヶ月で終わりを迎えます。共に過ごした同期とも離れ離れになつてしまふのはとても寂しいですが、卒業を迎えた日に同期と共に立派な自衛官になり、胸を張って、それぞれの部隊へ行くように切磋琢磨していきます。

(三次市出身)



入隊に際しての所感

藤村 玲南

入隊当初は同期と共に過ごせるか、きつい訓練についていけるのか、体力面は大丈夫なのかという不安と緊張で頭がいっぱいでした。ですが、いざ訓練が始まっていくと自然と部屋の同期とも話すようになりました。訓練期間は3ヶ月で、同期とは3ヶ月どんな時も一緒にです。ご飯を食べる時、訓練をする時、お風呂に入

る時、そして寝る時、衣食住全て共に過ごします。3ヶ月同じ部屋で全て同じ事をやるわけで、苦楽を共に3ヶ月過ごすというのは他では絶対に味わうことのない経験だと思っています。3ヶ月という期間はとても短く感じるかもしれませんが、3ヶ月24時間ずっと一緒にいるのでとても長く感じます。同期と過ごす時間は長いですが、同期と過ごす日々は物凄く濃く非日常の世界です。もし自衛隊に入ることが悩んでいる人がいたら、絶対に最高の出会いが待っていると思います。教育隊、学校、部隊、と今後発信する機会があつたら一つ一つ語りつ

(広島市南区出身)



入隊に際しての所感

寶利 新

私が航空自衛隊に入隊した動機は元航空自衛官の従兄弟の誘いを受けたからです。このことがきっかけで、これまであまり関係の無いと思っていた自衛隊に少し

ずつ興味を持ち始め、入隊する直前までテレビなどを使って情報を集めたりしていました。そして入隊から2カ月が経ち同室の仲間との関係も深まってきました。入隊時に3カ月はとても長いと思っていました。が、気が付けば2カ月が過ぎており、残り1カ月もな

(尾道市出身)



入隊に際しての所感

宮崎 光介

入隊してから毎日が忙しくて疲れが溜まりやすいですが、やりがいのある訓練ができて楽しいと思えます。入隊当初は人間関係や生活環境の変化に対して不安な気持ちになりました。訓練が始まってからは怒られることも増えていたり辛いと思う時もありましたが、辛い時こそ声を出して厳しい訓練を乗り越えてきました。入隊して良かったことは、今までの自分の生活リズムを改善できたり、メリハリのある行動をより向上できることです。自衛隊は時間に厳しく、絶対に遅れてはいけません。そのため、常に時間管理を意識して生活しており、生活リズムも安定してよりメリハリのある行動ができるようになりました。自衛隊は厳しい職業ですが、休日や給料が安定していてやりがいがある職業なので、不満はありません。入隊して約三ヶ月経ちましたが、まだまだ体力や知識などの面で未熟であるため、残りの課程もしっかり日々の訓練に

Advertisement for Izumo Construction Co., Ltd. (出雲建設株式会社). Includes company logo, name, address, phone numbers, and a list of services such as foundation investigation, pile driving, and soil improvement.

励み、立派な自衛官になれるように努力したいと思えます。

(広島市佐伯区出身)



山村 七夏

入隊に際しての所感

自衛隊に入隊して3ヶ月が経ち、残りもわずかとなりました。入隊した当初は集団生活、体力面すべてにおいて不安を感じていました。同じ班の人と仲良くすることが、生活していくにつれて慣れることができ、課外においても充実した生活を送ることができるようになりました。自衛隊においてのルール、規律なども初めはなにもわからない状態でしたが、慣れるまでに時間はかかりましたが、少しずつ自衛隊について学ぶことができていると感じています。自衛隊としての任務を学ぶとともに社会人としての自覚をもう一度見直し、今後も取り組んでいきたいと思っています。また、教育課程中に、時間厳守、積極的な行動、周りへの配慮とたくさん身につけることができ

たと思うので部隊配属後も生かしたいです。入隊式を終えるにあたって一段と覚悟をすることはできません。残りの教育訓練期間中も厳しいことの方が多いと思うけど人を支えて頼りにされるような自衛官になれる様より一層頑張りたいと思います。

(世羅郡出身)



吉村 有里子

入隊に際しての所感

私は社会経験をした上で航空自衛隊に入隊しました。外の世界を自由に生きることができ、また民間での働き方を知っていたので自衛隊生活を過ごさせてくれるか不安でした。しかし、入隊させてしまえば民間と比べる余裕もなく毎日が怒涛で一日一日が過ぎ去ってしまいます。また、集団生活や訓練などは最初は辛いと感じましたが、同期がいてくれたのとみんな同じように訓練をしているのでそれらの考えはすぐになくなりまし。張り詰めた訓練や座学だけではなく、駅伝大会や教練競技会、レクリエー

ションなど楽しいこともあります。休日は新型コロナウイルス感染症防止対策で外出時間に制限はあるが、みんな限られた時間でリフレッシュして過ごしたり、体力錬成、靴磨き、プレスなどを生活してしています。今現在、自衛官の採用年齢は三十三歳未満まで引き上げられており、多くの社会人経験者が自衛隊に入隊しています。体力面など不安もあると思いますが、普段運動していなかった私でも訓練などに全然ついていけました。入隊すれば苦楽を共にする同期がおり、かけがえない仲間がいます。一つの道として自衛隊を考えているのであれば私は全力で応援します。

(呉市出身)

自衛官候補生

第一線で活躍する任期制コース



たるた基礎的部門に必要となる2年間の教育訓練(陸・海・空)を完了し、自衛官候補生として入隊します。

高等工科学校 生徒



加登 流空

入校に際しての所感

私は、陸上自衛隊高等工科学校に入校して本当に良かったと思います。その理由は、二つあります。一つは、日々、自分が成長していることを実感することができるからです。入校したばかりのころは、ベッドメイク、アイロンがけ、靴みがきなどのやり方すら分からずとも時間がかかっていました。しかしながら3年生の先輩や職員の方にアドバイスをいただき、素早くきれいにできるようになりました。おかげで隙間時間もアイロンがけなどすべきことを完了できるようになり、時間を大切に使えるようになりました。また、自分でアイロンがけや洗濯をして干したりすること、これまで当たり前に親にやってもらっていたことがとても大変なことであること、有難い事であることに気づくことができました。

た。このように高等工科学校に入校したことで、気づかなかったことに気づき、知らなかったことを知り、日々成長していると感じています。これからはもっと成長していきたい気がしています。もう一つは、全国から集まった「同期の存在」です。毎日、一緒に過ごすことができる仲間がいることです。楽しいとき、困ったとき、苦しいとき、お互い助け合いながら頑張っています。唯一、残念なことは「広島のお好み焼き」が食べられないことです。

(広島市安佐南区出身)



原田 拓睦

入校に際しての所感

私は、陸上自衛隊高等工科学校へ入校から三ヶ月を過ごしてみて、大人に近づいたと感じています。中学校を卒業して、親元を離れ、見知らぬ人との共同生活は、思ったよりも辛いものでした。これまでは、親にやってもらっていたアイロンがけ、洗濯はもちろんだこと、靴みがきやスタ

整頓など自衛隊員としてやらなければならないことが多くあります。すべてが初めてなので、毎日が長く感じ、辛くなって家に帰りたと思うこともありましたが、そんなとき支えてくれたのは、対面の先輩でした。先輩は「自分もはじめの頃は辛かったけど、すぐに慣れるよ。」と会うたびに言ってくれました。他にも励ましの言葉をたくさんいただきました。すべてのことに対して、優しく分かりやすく教えていただいたおかげで、すぐに生活に慣れることができました。毎日が楽しく充実した日々をおくれるようになり、私は、自立をするため、毎日を全力で過ごし、将来たくさん人の命を救えるような自衛官になることを目標に頑張っています。そのため、日々の体力錬成と勉強をしつかりと行い、同期と切

自衛隊ふれあいコンサート
海上自衛隊呉音楽隊と
廿日市市立阿品台中学校のコラボ
令和4年9月17日(土) 開演14:00 入場無料

株式会社 エル・コ
企画マーケティングカンパニー
西広島タイムズ
おかげさまで創刊35周年
TEL: 082-277-5011

私達も自衛隊家族会活動を応援します
NPO法人 日本空手松涛連盟
広島県本部
会長 正男 顕
事務局長 永政 義弘
理事 藤本 正司



磋琢磨し、共に成長できる
ように努力していきます。
(東広島市出身)

入校に際しての所感

政木 晋一郎

私が陸上自衛隊高等工科学校に入校して、三か月が経ちました。着校するまでは、実家を離れることが寂しく、体力や勉強など不安だらけでした。また同期と仲良くできるかも心配でした。しかしながら、いざ着校してみると、共通の趣味がある、入校動機が同じなど、すぐに同期と仲良くなることができました。また、先輩方から、アイロンがけや靴みがき、ベッドメイクなど自衛隊生活のノウハウをたくさん教えてもらいました。疑問や悩み相談など、精神的な支えにもなっていました。当初の不安を払しょくすることができました。体力面もみんながみんな、マッチョではないので安心しました。加えて、筋肉モリモリの三年生の先輩が、「一年生のころは腕立てが10回しかできなかったけど、毎日コッコツやれば



60回はできるようなようになる。」とアドバイスをくれたので安心することができました。勉強面は、毎日、夜に2時間の自習時間があり、タブレット端末を使っていた自習もできるので安心していきます。この生活は、決して一人ではなく、同期と支え合っていくことができるので、どんな辛いこと、厳しいことも乗り越えていくことができると思います。今、私はとても充実した毎日を過ごすことができます。 (広島市安佐南区出身)

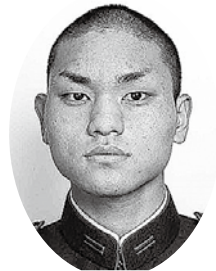
入校に際しての所感

丸井 一樹

陸上自衛隊高等工科学校に入校して約三か月が経ち、学校の生活に慣れてきました。生活の中で大切だと思った事は、「同期の存在」と「時間の管理」です。入校したとき、周りに初対面の人ばかりで今後どうなるのだろうかと不安でいっぱいになりました。少しずつ集団生活に慣れていき、同期との関わりが増えていきました。生活を送っ



ていくと辛いことや苦しいことがあります。しかし、同期がいたおかげでいろいろなことを乗り越えていくことができました。生活の中で自由な時間は少なく、いつも時間を気にする生活を過ごしています。私が学習係に就いたとき、自分の制服にアイロンがけする時間がなく困っていました。そんなときに助けてくれるのは同期でした。私の代わりに制服をアイロンがけしてくれました。このことから、私も作業等で忙しい同期がいたら助けたり、次に何をすべきかを常に考えながら行動したりすることできるようになりました。生活は厳しいことがたくさんありますが、防衛教官や職員の方、たくさん同期がいるので、日々、楽しく過ごすことができます。私は、高工校の三年間で日々成長していき、自分の目標を達成できるように三年間頑張っています。
(尾道市出身)



入校に際しての所感

溝辺 涼

四月一日、私は陸上自衛隊高等工科学校の門をくぐり新たな生活をスタートさせました。着校当初、慣れない日々々に不安を感じました。入浴や食事など多くの時間が団休行動となっており、人に合わせてまとまって行動することの大変さを痛感しました。しかし、そんな中でも、先輩や自衛官職員の方の熱心な指導によって、少しずつ生活に慣れることができました。団体生活を通じて、同期と過ごす時間が多くなったこと、お互いに不安や悩みを相談し合い、お互いに助け合うことができるようになりました。陸上自衛隊高等工科学校に入校して、団体生活をおくる中で人と支え合い協力していくことの本当の大切さを知ることができました。最近では、隊舎内での洗濯やアイロンがけなどの生活のことから、テストに向けての学習、日々の体力錬成など様々なことを同期と一緒に頑張っています。苦しいときや頑張りたるときに、共に行動して



入校に際しての所感

道廣 達哉

陸上自衛隊高等工科学校に入校し、約三か月が過ぎ、生活にも慣れてきました。最初の三か月で私が大切に感じたことは、「同期との助け合い」です。生活に慣れない間は区隊全員で行動するため、私的な制服のアイロンがけや裁縫をする時間が限られています。人には、それぞれ得意不得意があります。私は裁縫が得意でしたが、靴磨きとアイロンがけが苦手です。だから、靴磨きが上手な同期にコツを教わったり、アイロンがけを手伝ってもらったりしました。代わりに同期

http://www.seifukunofuji.com
fuji@seifukunofuji.com
よい服をより安く買える専門店
(株) 制服のフジ
呉市中通1丁目1-21
☎ 御注文はフリーダイヤル(料金着信払い)
(0120)21-7731 又は(0823)21-7731
FAX(0823)25-0130

自衛官の皆様の福利厚生に
全力をつくします
第1術科学校ローソン
江田島市江田島町海自第1術校内
TEL 0823-40-0010

超保険ショップ
株式会社 ライフパートナーズ
(自衛隊家族会会員・隊友会会員)
<取扱い保険会社> 東京海上日動火災保険株式会社
防衛省団体保険自動車保険
<取扱い指定代理店> 防衛省団体火災保険 ※団体割引あります
本社/広島本店 広島市南区出汐1丁目17-28-201
TEL:082-255-5077 FAX:082-255-5227
東広島本店 東広島市西条下見5丁目4-33 クマオマンション1B
TEL:082-436-3011
URL http://www.lp-cho.net

給排衛生設備・設計・施工
広島市・東広島市・呉市・廿日市市
大竹市・熊野町・上下水道指定工事店
有限会社 SDN
代表取締役 竹野善彦
〒731-0141 広島県広島市安佐南区相田3丁目12-21
TEL(082)832-7700 FAX(082)872-1515

株式会社 エッチアルディ
磁気処理すれば!!
水が魅る
販売代理店 せきの ふじお
備前法人会会員 関野 不二男
自衛官家族会職員
E-mail: sekino-fujio@ezweb.ne.jp
〒739-0144 東広島市八本松南3-5-18
TEL:082-428-2768
FAX:082-428-2768
携帯:080-5621-4513
HRD

陸上自衛隊高等工科学校に入校してから早くも三カ月経ちました。学校生活に段々と慣れてきて、生活リズムも整ってきまし

入校に際しての所感

安田 匡輝



（広島市中区出身）

に早くきれいに縫う方法を教えたり、縫い付けを手伝ったりしました。他にもたくさんの方と同期と協力しました。その結果、強い絆がすでに生まれていると感じています。また、私自身に付いたと思うことは、「時間を管理する力」です。学校生活において、朝起床してから消灯までムダな時間は一秒もありません。そのため、常に先の行動を考えながら動かなければなりません。これを毎日続けるため、次第に時間を管理し、調整できるようになりました。将来の国防を担う自衛官になる人間として、高等工科学校での生活を大切に、日々成長しながら、自分の目標を達成できるように努力していきます。

た。また、同期と共に過ごす時間をとても楽しいものだと感じてきました。入校した当初は、生活環境になかなか慣れず大変で、同期とも打ち解け合うことが全然できませんでした。生活環境の面では、ベッドメイク、整理整頓などが最初は全然できず、苦労しました。しかし、先輩方、職員方が一つ一つ丁寧に指導してくれました。おかげで、今では問題なく学校生活を過ごすことができるようになりました。一方、同期との面では自分から話題をつくるということがお互いできず、会話もなく静かな空間で三日ぐらい過ごしました。それを見ていた先輩が自己紹介をしてみようと、アドバイスをくれました。実際に自己紹介をしてみると、そこからいろいろな話題が生まれ、打ち解け合うことができました。今では、互いを支えながら同期と共に忙しい日々を過ごしています。そして、私は、立派な自衛官になるには、まだまだ程遠いですが、日々挑戦し、感謝しながら大切な同期と共に全力を尽くして、学業・服務に励んでいきます。

（東広島市出身）

防衛医科大学校看護学科学生

保健師・看護師である幹部自衛官となるべき者を育成するコース



4年間の教育を受け保健師・看護師の国家資格の取得を目指します。免許取得後は、陸・海・空各幹部候補生学校に入校し、幹部自衛官に必要な知識と技能を学びながら、幹部としての資質を養います。



高等工科学校生徒

専門技術者を養成するコース



将来陸上自衛隊において、高機能化・システム化された装備品を駆使・運用するとともに、国際社会においても自信をもって対応できる者となる者を養成するために中学校卒業予定者等を対象に採用する制度です。

防衛医科大学校医学科学生

自衛隊の医師を養成するコース



将来、医師である幹部自衛官となる者を養成する制度です。6年間の教育訓練と全寮制の規律ある団体生活を通じて、医師としての知識や技能のほかに強靱な体力も養ってゆきます。

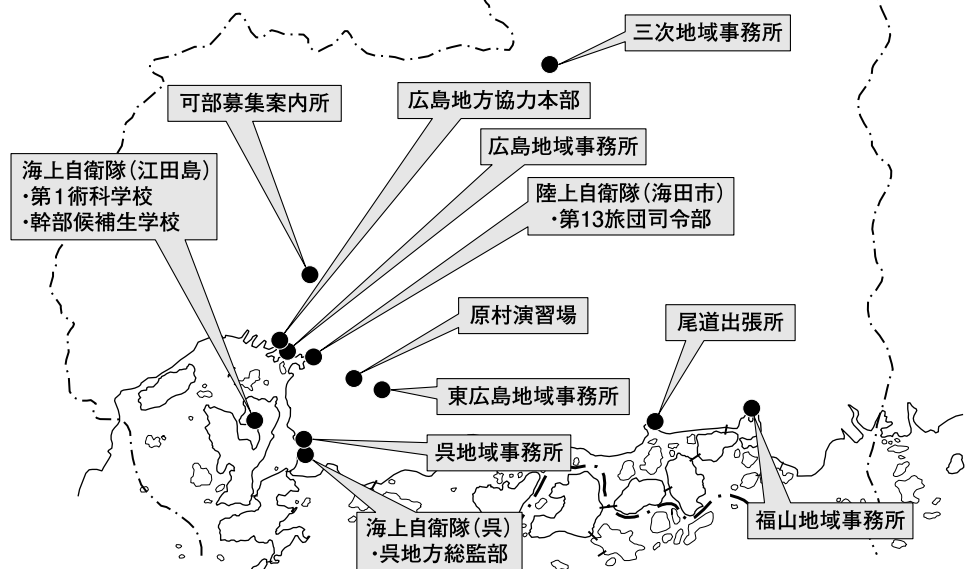
航空学生

自衛隊のパイロットを養成するコース



海上・航空自衛隊のパイロット等を養成する制度です。入隊後は「航空学生」として、全員が学生宿舎で規則正しい団体生活を送ります。

広島県の自衛隊配置図



福山防衛協会

会長 林 克士
会員一同

〒720-0067 福山市西町2-10-1 福山商工会議所内
TEL(084)921-2345

強い「絆」で家族をつなぐ自衛隊家族会

**広島県自衛隊家族会
安佐北支部**

支部長 新川 護

受け持ち地域 広島市安佐北区・北広島町・安芸太田町・安芸高田市の一部

大きな夢を応援します

広島県防衛協会

会長 池田 晃治
会員一同

〒730-8510 広島市中区基町5-44
TEL(082)222-6610

私たちは、自衛隊を応援したい
自衛隊員の家族です。

**広島県自衛隊家族会
府中町支部**

支部長 小早川 澄
会員一同

事務局：kiyocho38@yahoo.co.jp

隊員の最も身近な組織であることに誇りを持ち
力をあわせて自衛隊を支えます

公益社団法人自衛隊家族会広島県自衛隊家族会

福山市自衛隊家族会

会長 渡邊 政夫
会員一同

事務局 TEL：084-955-3468

あなたも当会の会員に
なってみませんか



公益社団法人 隊友会

広島県隊友会

会長 寺尾 憲治
会員一同

事務局 TEL：082-888-8807



平和を、仕事にする。
陸・海・空自衛官募集中!

令和4年度自衛官等採用案内

自衛隊広島 検索




募集種目		資格	受付期間	試験期日	合格発表	入(校)隊
航空学生		海：高卒（見込含） 23歳未満の者 空：高卒（見込含） 21歳未満の者	7月1日～9月8日	【1次】9月19日 【2次】10月15日～20日 【3次】(海)11月18日～12月14日 (空)11月12日～12月15日	【1次】10月7日 【2次】(海)11月9日 (空)11月4日 最終 5年1月17日	5年3月下旬 ～4月上旬
一般曹候補生		18歳以上33歳未満の者 <small>(32歳の者は、採用予定月の末日現在、33歳に達していない者)</small>	7月1日～9月5日	【1次】9月15日～18日 【2次】10月8日～23日 ※いずれか1日を指定されます。	【1次】10月3日 最終 11月15日	5年3月下旬 ～4月上旬
自衛官候補生		18歳以上33歳未満の者 <small>(32歳の者は、採用予定月1日から起算して3月に達する日の翌月の末日現在、33歳に達していない者)</small>	年間を通じて行って おります。	受付時にお知らせします。	試験時にお知らせします。	5年3月下旬 ～4月上旬
防衛大学校生	推薦	高卒（見込含） 21歳未満の者 ※推薦については高等学校長の推薦 等が別途必要です。	9月5日～9月9日	9月24日・25日	10月28日	5年4月上旬
	総合選抜	高卒（見込含） 21歳未満の者 (自衛官は23歳未満)		【1次】9月24日 【2次】10月29日・30日	【1次】10月14日 最終 11月24日	
	一般	高卒（見込含） 21歳未満の者 (自衛官は23歳未満)	7月1日～10月26日	【1次】11月5日・6日 【2次】12月6日～10日	【1次】11月24日 最終 5年1月20日	
防衛医科大学校医学科学生		高卒（見込含） 21歳未満の者	7月1日～10月12日	【1次】10月22日 【2次】12月14日～16日	【1次】12月1日 最終 5年1月31日	5年4月上旬
防衛医科大学校看護学科学学生		高卒（見込含） 21歳未満の者	7月1日～10月5日	【1次】10月15日 【2次】11月26日・27日	【1次】11月11日 最終 5年2月3日	5年4月上旬
高等工科大学校生徒	推薦	男子で中卒（見込含） 17歳未満の者 ※推薦については中学校長の推薦 等が別途必要です。	10月1日～12月2日	5年1月5日～7日 ※いずれか1日を指定されます。	5年1月13日	5年4月上旬
	一般	男子で中卒（見込含） 17歳未満の者	10月1日 ～5年1月6日	【1次】5年1月14日・15日 【2次】5年1月26日 ～1月29日	【1次】5年1月13日 最終 5年2月9日	
貸費学生		大学の理学部、工学部の3・4年次又は大学院（専門職大学院を除く）修士課程在学（正規の修業年限を終る年の4月1日現在で26歳未満（大学院修士課程在学者は28歳未満））	6月1日～11月11日	12月3日	5年3月3日	卒業(修了)後

隊員採用の問い合わせは、各市区町役所又は下表自衛隊広島地方協力本部各地域事務所等へ

本部	〒730-0012 広島市中区上八丁堀6-30 広島合同庁舎4号館6階	082-221-2957(代)	福山	〒720-0063 福山市元町15-16 和田ビル2階	084-923-4743
尾道	〒722-0036 尾道市東御所町9番1号 尾道ウォーターフロントビル3階	0848-22-6942	東広島	〒739-0014 東広島市西条昭和町5-1 ジブラルタ生命ビル3階	082-422-4252
呉	〒737-0028 呉市幸町6-15	0823-23-1226	広島	〒732-0828 広島市南区京橋町1-3 TATSUMI広島駅前ビル2階	082-261-1070
三次	〒728-0013 三次市十日市東4丁目3-5 グリーンハイムビル1階	0824-62-0350	可部	〒731-0221 広島市安佐北区可部3-37-40 大下新館ビル1階	082-815-3980

さみだれ出航



- 令和3年12月24日
第41次派遣海賊対処水上部隊に
激励品（栄養補助食品・栄養ドリンク
等）持参。
- 令和4年1月25日
出航大須瀬戸港埠頭での、日の丸・
自衛艦旗・航海安全国際信号旗等に
て激励、『さみだれ』探照灯での返
礼点灯。

自衛隊家族会活動



- 令和4年4月3日【海田市駐屯地】
福谷会長、入隊家族説明会



- 令和4年5月24日【呉総監部】
安否確認調印式

陸上自衛隊海田市駐屯地 令和4年新入隊員奮闘記録



- 令和4年4月3日
緊張の入隊式



基本教練（敬礼）



初めての徒步行進訓練（25Km）

自衛隊・家族会の活動